

# 「カワバタモロコ増殖・放流連絡会議」と連携した絶滅危惧種カワバタモロコの保護活動

## 活動の場所

ダイオーペーパープロダクツ(株)  
徳島事業所内



## 活動目的

徳島県で既に絶滅したと思われていた小型淡水魚カワバタモロコが2004年に再発見され、産官学民が連携をして研究・飼育・環境学習などを利用しながら数を増やし生息地に返すことを目的とした活動を行う。

## 活動内容

産官学民が連携した「カワバタモロコ増殖・放流連絡会議」メンバーである当社子会社ダイオーペーパープロダクツ(株)の徳島事業所において、2016年1月に徳島県から譲り受けた200匹を工場内の貯水槽で繁殖させることに取り組んでいます。最初の2年間は約50匹減という結果となりましたが、防鳥対策、稚魚保護ケースの設置や水温管理を徹底することにより、3年目からは増殖に転じています。まだ、放流するまでには至っていませんが、2021年7月時点では791匹の個体が確認されており、更なる増殖のため、水質監視、産卵床整備、保護ケース清掃等の対策を講じました。譲り受けた200匹以上を、元の生息地に放流することを目標に、今後も徳島県と連携し繁殖活動に取り組んでいきます。



工場内の貯水槽



希少淡水魚「カワバタモロコ」親魚



「カワバタモロコ」稚魚

## PRしたいポイント

行政も企業も保護活動に特別な予算を確保するのではなく、事業活動を通して社会課題解決を図ることを無理なく行うことが求められている時代だと思います。今回の活動は事業所内の貯水槽という今ある設備を活用して無理なく持続的な活動を通じて絶滅保護種を元の生息地へ戻す取り組みを行っています。

## 活動効果、今後の展開 等

- 譲り受けた200匹の稚魚が791匹（2021年7月時点）に増殖
- 自然環境への放流を目指して活動が続いている

大王製紙株式会社

大王製紙株式会社

<https://www.daio-paper.co.jp/csr/organic/rasborella/>